

トヤ沢川の砂防ダムが、 2015年「大地の芸術祭」メイン作品の一つに決定しました。



「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」は、過疎高齢化の進む日本有数の豪雪地・越後妻有(新潟県十日町市・津南町)を舞台に2000年から3年に1度開催されている世界最大級の国際芸術祭です。

開催は今回で6回目となり、前回(2012年)の来場者は49万人にも及び、その多くはリピート来場者ということからこの「大地の芸術祭」の素晴らしさをうかがい知ることができます。

期間中は、「人間は自然に内包される」を基本理念としたアート作品が東京23区より広いこの越後妻有に展開され、今回は世界中のアーティストによって生まれた約200点もの恒久作品に加え、約180もの新作が登場するようです！



■ 他の作品 ■

▲草間彌生「花咲ける妻有」

▲パスカル・マリティン・タイユ「リバース・シティ」

■ 第6回展のテーマ 人間が自然・文明と関わる^{すべ}術こそが「美術」

人間が自然の中で生きていくために培ってきた様々な創意工夫、技術、それを理解する仕組みとしての作品に焦点を当てる。

